

## (2) 予測対象地域とゾーニング

### ① 予測対象地域の設定

8号答申での予測対象地域の設定は、国勢調査結果等に基づき、大都市への通勤・通学5%以上依存圏等の条件により設定している。

大阪市の地下鉄は、大阪市周辺部のみでなく、都市圏の広範囲からのトリップによる利用も考えられることから、8号答申における予測対象地域を基本として、地域的なまとまりや平成の市町村大合併による圏域の拡大を考慮して、以下のような地域を予測対象地域とした。

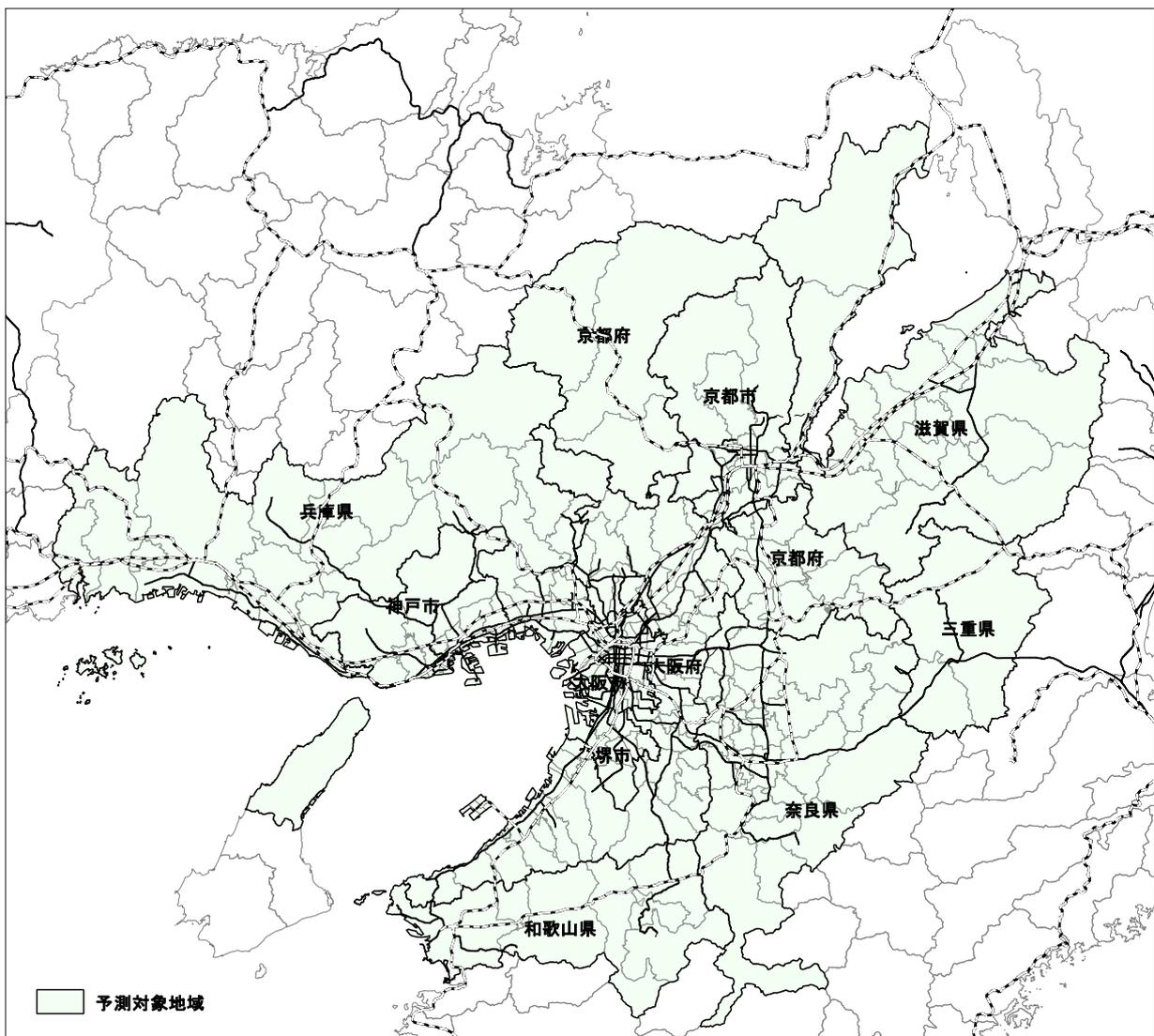


図 2-10 予測対象地域(近畿圏)

## ② ゾーニング

答申第8号予測では、答申路線及び検討対象路線沿線のゾーニングを細分化し、予測対象圏域全体で1,118ゾーンを設定している。

ゾーニングは、新線計画の駅配置に合わせて作成されるものであり、多くの将来路線の検討を行う答申第8号フォローアップ調査においては、近畿全域でゾーニングを詳細化している。本検討においては、これをベースとして、検討対象となる大阪市内を中心に詳細化し、この結果、需要予測ゾーン数は、予測対象圏域で1,549ゾーンとなった。

表 2-2 予測ゾーン数の比較

府県	答申第8号	答申第8号 フォローアップ	地下鉄第8号線 事後評価	本検討
大阪府	480	620	587	632
(うち大阪市)	(280)	(295)	(299)	(303)
(うちその他)	(200)	(325)	(288)	(329)
京都府	200	227	215	227
兵庫県	256	395	333	395
滋賀県	89	155	155	155
奈良県	71	93	93	93
和歌山県	18	40	40	40
三重県	4	7	7	7
計	1,118	1,537	1,430	1,549